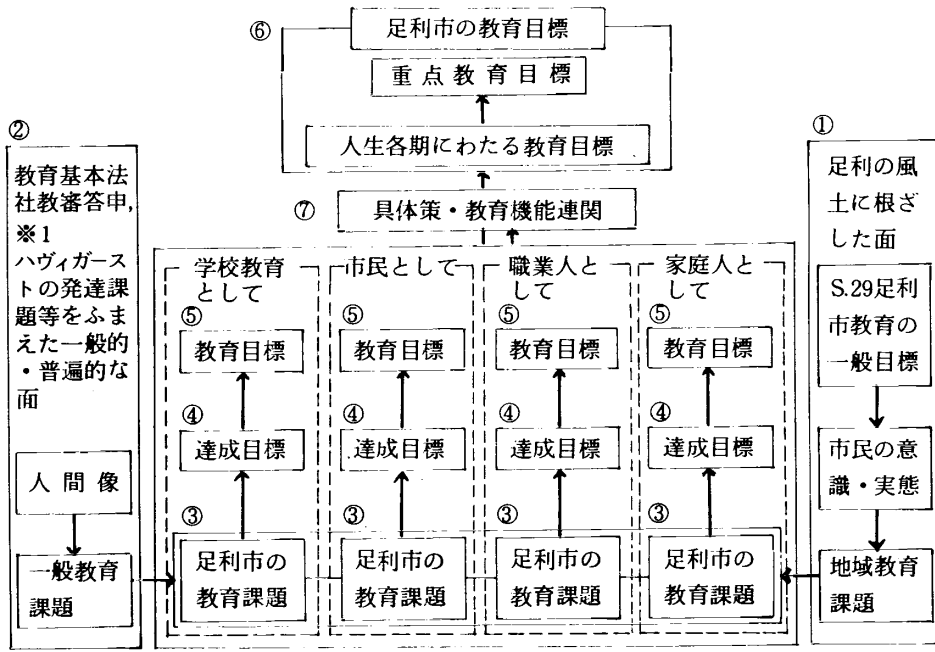


## 4 教育目標設定の全体構想

目標設定委員会では、5か年間にわたる目標設定手順の全体構想を立て、設定作業を進めた。



- ① 昭和29年設定の「足利市教育の一般目標」の検討，市民の教育に対する意識や実態調査に基づき，足利の風土に根ざした「地域教育課題」を抽出する。
- ② 各専門部会で，あるべき人間像や普遍性をもつ「一般教育課題」を抽出する。
- ③ 地域教育課題を一般教育課題の網目に通すことによって，一般性，普遍性を兼ね備えた「足利市の教育課題」を設定する。
- ④ この教育課題を達成するために，具体的な目標（達成目標）を設定する。
- ⑤ 各専門部会としての人間像や達成目標を整理・統合する角度から，「部会としての教育目標」を設定する。
- ⑥ 各専門部会で設定した教育目標，教育課題，達成目標を整理・統合し，人生各期に位置づけ，「人生各期にわたる教育目標」を設定する。  
さらに，足利市の各主体者が自ら取り組むべき目標を設定する際に，参考となる「重点教育目標」を設定する。
- ⑦ 足利市の教育目標を達成するために，「具体策の策定」並びに「教育の役割と  
そのかわり（教育機能連関）」について作成する。

※1 ハヴィガースト氏（アメリカ）：「人間の発達課題と教育」（1958年）の中で，人間の発達には適時性があり，人間が成長していく各段階には，その時に獲得されなければならない能力とか，その時に果たさなければならない課題がある。人間が成長していく過程の中で，各段階にどのような発達上の課題があるのかを明らかにした。